

【かめおか市民活動推進センター検討会概要】

- ・日時 8月29日 10時～正午
- ・出席者 委員会：田畑委員 齋藤委員
センター：福田事務局長 京谷次長
市：樋口課長 香川副課長 西村

・主な意見

【運営の目標設定について】

- ・団体の望むことをするのではなく、市として市民活動をどのような方向に持っていきたいかを念頭に運営方針を決定すべきで、ゴール・目的・戦略をはっきりとさせ、言語化を。
- ・支援の最終目標の設定が必要。中間支援組織として「継続」を目指すのか「解散」を目指すのかによって、支援に依存してもらっても問題ないとするのか、市民活動団体に自立をしてもらうのかが変わってくる（直接支援…継続 間接支援…解散 が最終目標）。
- ・センターの運営のエンドユーザーは市民活動団体ではなくその団体の活動によって恩恵を受ける人達である。

【相談機能・情報提供について】

- ・相談機能についてはニーズがないわけではなく、センターが相談できる場所だという認識がされていない。会議室利用団体に積極的に声をかけて困りごとを聞き出し、相談に乗っていけば能力はあとからついてくるのではないか。
- ・日を設定して専門家を呼んで特定の分野（例えば、会計など）の相談会を開催し、その際にセンター職員も同席し、スキルアップに繋げる。
- ・会議室の貸出はあくまで団体支援のきっかけづくりであり、借りに来た人たちにどれだけ情報提供等の支援を行えるかが重要になる。
- ・講座の開催よりも運営スタッフが学んで力をつけることに重きを置かないといつまでも団体から頼られる存在にはならない。

【センターの運営方針や取組（案）】

【センターの運営のゴール】

『地域課題には住民が行政と協力して取り組むことが当たり前という雰囲気づくり』

【センターの役割】

1. 団体力の底上げ支援による長く活躍する団体を増加させる。
2. 市内の団体の活動に関する情報を蓄積し、団体への情報提供、マッチング、参画者の増加につなげる。

【具体的な取組】

●情報発信

HP、Facebook、メーリングリストの運用方針の策定。（投稿内容や頻度）

●情報収集

- ・スタートル活用団体の見学はじめ、市内の活動団体の情報収集。
- ・各種助成金情報収集（亀岡市、京都府、生涯学習助成を中心に）

●相談機能

- ・まずは、相談ができる場所というイメージづくりのために、分野別に相談会を実施。
- ・相談員登録制度
一般の方で自分の得意分野を活かして団体支援をしてもいいという人を登録して、希望があれば日程調整して相談対応してもらい、相談員にセンターから謝金を支払う制度の検討。

●交流事業

- ・登録団体同士の交流、センターへの意見聴取のため年に1回、交流会を実施

●市民活動推進フォーラム（市と共催）

- ・登録団体に限らず、市民活動・ボランティア活動に興味のある市民に対して、講演や参加者同士の意見交換といった事業を実施